

物理化学系教科担当教員会議 議事録

日時： 2017年3月25日（土） 12:00～13:00

会場： 東北大学 川内北キャンパス 講義棟 C106（日本薬学会第137年会 S会場）

出席者： 51大学から63名（出席者名簿別添）

1. 開会

本年度世話人である高橋央宜（東北医科薬科大学）より、開会の挨拶があった。

2. 学会開催案内等

- 2-1. 船津高志先生（東京大学）より、BMAS2017（第30回バイオメディカル分析科学シンポジウム）の開催案内があった。
- 2-2. 池田浩人先生（福岡大学）より、CATS-2017（8th International and 10th Japan-China Joint Symposium on Calorimetry and Thermal Analysis）および第53回熱測定討論会の開催案内があった。
- 2-3. 高橋央宜（東北医科薬科大学）より、D-アミノ酸学会（旧 D-アミノ酸研究会）の活動について紹介があった。

3. 事前のアンケート調査に基づいた討論等

本会議に先立ち、世話人である高橋央宜（東北医科薬科大学）により、事前にアンケート調査が行われていた。内容は、教養教育としての数学・物理学との連携、電子の軌道（原子軌道・混成軌道・分子軌道）について教えている科目、ならびに、量子化学的な概念を教える上での工夫である。

このアンケート調査の結果について、世話人より資料にもとづいた説明があった。また、アンケートの回答中にあったソフトウェア利用について、以下の紹介、ならびに質疑応答があった。

- ・後藤了先生（東京理科大学）より、分子モデリング・シミュレーションソフトウェアの「マテリアルズスタジオ」をどのように教育に用いているかの紹介があり、質疑応答が行われた。
- ・高橋央宜（東北医科薬科大学）より、分子モデリングソフトウェア「Spartan」をどのように教育利用しているかについて紹介があった。

4. 次年度の教員会議について

次年度の会議は、日本薬学会第 138 年会（金沢）の期間中に開催されることとなった。次年度世話人の福吉修一先生（金沢大学）より挨拶があり、年会は金沢駅前を中心とした地域で行われることなどが説明された。

5. 閉会

以上

物理化学系教科担当教員会議 出席者（平成29年3月25日）

大学名	氏名(敬称略)		
北海道医療大学	吉村 昭毅		
北海道薬科大学	吉岡 忠夫		
青森大学	津田 岳夫		
岩手医科大学	阪本 泰光		
東北医科薬科大学	高橋 央直	真鍋 法義	
いわき明星大学	角田 大		
国際医療福祉大学	宗像 達夫		
高崎健康福祉大学	鈴木 巖		
城西大学	江川 祐哉		
日本薬科大学	安西 和紀		
千葉大学	根矢 三郎		
東邦大学	伊関 峰生		
日本大学	橋崎 要		
東京理科大学	後藤 了	牧野 公子	
帝京平成大学	石坂 隆史		
東京大学	清水 敏之	嶋田 一夫	船津 高志
慶應義塾大学	金澤 秀子	伊藤 佳子	
昭和大学	合田 浩明		
星薬科大学	米持 悦生		
東京薬科大学	横島 智		
明治薬科大学	杉山 重夫	高波 利克	
武蔵野大学	武藤 裕		
昭和薬科大学	小澤 俊彦		
帝京大学	武田 淳	橋 直子	
横浜薬科大学	北川 康行		
富山大学	藤井拓人		
金沢大学	福吉 修一		
北陸大学	上森 良男		
岐阜薬科大学	近藤 伸一	笹井 泰志	
静岡県立大学	橋本 博		
名古屋市立大学	加藤 晃一	矢木 宏和	
名城大学	栗本 英治		
鈴鹿医療科学大学	飯田 靖彦		
立命館大学	北原 亮		
京都大学	松崎 勝巳		
京都薬科大学	斎藤 博幸		
同志社女子大学	桑原 淳		
大阪大学	大久保 忠恭		
近畿大学	西脇 敬二		
摂南大学	佐久間 信至		
大阪大谷大学	森本 正太郎		
神戸学院大学	山原 弘		
兵庫医療大学	甲谷 繁		
就実大学	加藤 久登		
広島大学	木下 英司		
広島国際大学	南 英輝		
徳島文理大学	福山 愛保	岸本 泰司	桐野 豊
松山大学	奈良 敏文	畑 晶之	
第一薬科大学	田島 健治		
福岡大学	池田 浩人		
長崎大学	萩森 政頼		